

七夕茶会

7月7日に開催しました。

前日に2本の笹竹に七夕飾りを会員の皆さんと作り、きれいな七夕飾りが出来上がりました。

茶会に出席された皆さんには、たんざくに願い事を書いていただきました。

その中に「日新校区の皆さんが笑顔になれます様に」と書かれた、たんざくを見つけ嬉しくなりました。

お茶の入れ方の講座を受けた皆さんがこのままではもったいないという事で、校区の皆さんの憩いの場「にしん茶屋」を立ち上げ活動しています。

コロナの発生で3年間中止していました。日新こども園の年長さんに食育活動としておいしいお茶の入れ方とマナーも教えています。



令和5年10月

Vol.82

日新校区社会福祉協議会
会長／坂井 克宏
所在地／佐賀市長瀬町1-20
TEL／0952-26-9216

日新校区社会福祉協議会

日新福祉だより

1、令和5年度の主要事業について

・「ひまわり会食会」

年間4回計画し、5月16日・6月20日に開催しました。残り2回(11月21日、令和6年3月19日)は開催します。今年度から24町区の内半分ずつ実施します。

・「しめ縄づくり・ミニ門松づくり」

12月11日に開催します。

・「日新ライトファンタジー」

12月1日開催します。クリスマス時期に子どもと大人の交流を図っています。

・「高齢者サロン・介護予防運動教室・自主コミュニティカフェ」への活動助成を行っています。

・「福祉協力員」への活動助成を行っています。

2、第28回地域福祉実践研究セミナーに参加して

8月24日(木)～26日(土)

8月24日(木) アバンセホール

8月25日(金) 佐賀県在宅生活サポートセンター

8月26日(土) アバンセホール

・「地域でともに生きていくために、未来に向かって、もう一度つながる」
一社会福祉協議会を中核とした地域づくりを目指して一

- 1、社会福祉協議会は、「住民のニーズを発見し、ニーズ解決に即して活動を行う、もっともソーシャルワーク機能を発揮しやすい組織」である。
- 2、地域での自立生活を支援していくためには、多様なサービスへのアプローチ、多面的に関する機関・職員の連絡調整(コーディネート)といった、個々人のニーズに即したケアマネジメント機能が不可欠である。
- 3、社会福祉協議会は「地域を基盤とする社会福祉法人」として法制上位置づけられているので、福祉サービスを必要としている人を地域で支えていく、包摂できる(インクルージョン)地域づくりを推進することが使命である。

この三つを有機的に展開できる組織として「社会福祉協議会」があることを自覚する必要があり、その機能、活動が「コミュニティソーシャルワーク」である。

社会福祉協議会の業務や地域との関わりが再認識できたので、それに沿った事業や地域のニーズの即した活動を行っています。

ひまわり会食会

新型コロナウイルスが5類感染症に移行になり、各地ではさまざまな行事が行われるようになりました。「ひまわり会食会」も感染防止対策を十分に行った上で前回同様令和5年5月16日と6月20日の2回に分けて開催いたしました。

5月16日はオカリナ奏者 仮屋様をお迎えし素敵な音色に聞き入りました。

6月20日は、平松北の柴田様によるピアノの演奏による合唱があり参加者の方々は、久々に声を出して楽しむことが出来ました。

会を無事終えることが出来たのは、参加者の皆様と各種団体のご理解とご協力のたまものです。有難うございました。



5月の写真



6月の写真



「日新福祉だより」の発行、「ひまわり会食会」、「訪問交流事業」、「しめ縄づくり」などの行事は、社会福祉協議会の赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金の分配助成金が使われています。

ニッシンライトファンタジー Nisshin Light Fantasy

12月1日(金)～1月21日(日)でニッシンライトファンタジーが開催されました。日新公民館のイルミネーションは、設置から初日の点灯式の企画・運営まで、地域のボランティアと一緒に活動し、作り上げていくのが特徴で、今年もたくさんの方が来場されました。

点灯式では、カウントダウン後にたくさんのライトが一斉に点灯すると、「きれい！」と大きな歓声があがっていました。特に昨年よりもグレードアップした川面のイルミネーションが、目を引いていたようです。また、子どもたちは、飾られたプラバンのオーナメントの中から、自分や友達の作品をさがしたり、会場に来ていた「なつレンジャー」や「ピカチュウ(風船の着ぐるみ着用)」と触れ合ったりと微笑ましい姿がみられていました。ボランティアさんの手作りカレーとおしるこも大変おいしくいただきました。



日新福祉だより

日新校区社会福祉協議会
会長/坂井 克宏
所在地/佐賀市長 瀬町1-20
TEL/0952-26-916

令和5年度 しめ縄づくり・ミニ門松づくり

12月11日(月)多目的ホールで地域の高齢者70名の参加で、田中みゆき先生の指導により、皆様見本を見て、となりの方と見比べながら楽しく作成されていました。

これを玄関に飾って新年を迎えられたと思います。

作成後は、女性の会の皆様が作られた「ぶた汁」を食べていただきました。



講師：田中 みゆき 氏
(マミフラワーデザイン佐賀登録教室)

期日：令和5年12月11日(月)

【しめ縄づくり】



【ミニ門松づくり】



地域応援研修会 令和5年12月20日 メートプラザ 「ともに支え合う地域福祉のまちづくり」と題して

居場所づくりコミュニティカフェについて説明がありコミュニティカフェを実施した北川副校区の2町区の代表の方の発表がありました。

コミュニティカフェとは、地域に居住高齢者、子ども、障害の有無に関わらず、地域住民の誰もが気軽に集う交流できる居場所。

カフェを始めるきっかけから、開催までの流れを資料と共に説明がありました。

地域に居住する全世代型(自治会に加入していない人たちも参加)というのが悩むところだと思いました。

佐賀市社会福祉協議会会長会研修会

令和6年1月17日(水) 福岡市西区 周船寺校区社会福祉協議会の研修会に参加しました。

「周船寺校区ふれあいネットワーク活動の取り組みについて」

地区の概況

人口11,232人、高齢者 2622人、高齢化率 23.3%、
町内会 6町、 民生委員・児童委員 16人

「ふれあいネットワーク活動推進会」が組織されています。

町内会長、老人クラブ連合会、民生委員・児童委員、主任児童委員、消防班長・予防指導員、男女共同参画委員会、こども育成連合会で構成されています。

まず、ふれあいネットワーク対象者名簿の作成(見守りする人も記入)されています。

その後、下記のことについて取り組みがなされています。

- ①組長さんへの見守り依頼
- ②緊急時連絡カード
- ③校区版「個人情報の手引き」の作成
- ④施設や協力企業との連携
- ⑤緊急時の対応手順
- ⑥消防分団予防指導員と民生委員との合同訪問
- ⑦要支援者避難訓練
- ⑧認知症行方不明者搜索・声かけ訓練

特に施設や企業との連携や消防分団予防員と民生委員との合同訪問は、参考になる内容でした。

佐賀市社会福祉大会

2月21日に「アバンセ」で開催されました。

永年表彰者(社会福祉団体役員、民生委員・児童委員ボランティア団体、福祉協力員10名)の方への表彰状、福祉事業資金寄付者(個人1名、6団体)への感謝状が贈呈されました。

講演

「夢への実現と多くの人がかかわるすばらしさ」と演題として、講師は川副町出身の

「徳永 義昭」さんでした。

のり漁師をしながら、52歳からピアノをほとんど独学でなされて、音楽会の演奏活動されているのに、感動しました。

最近、メディアにも取り上げられて、映画作成や海外での演奏会の発表会の予定の計画されているとのことでした。

夢の実現にいろんな方との関わりを持っておられると感じました。

高齢者になっても何かに取り組んで、元気に生活したいと考えました。

日新校区の高齢者の現状と方策について

令和5年度の高齢者実態調査で校区の高齢者(65歳以上の方)2847名、75歳

以上の方1543名、ひとり住いの高齢者577名、施設入所者195名になってい

る状況であります。

特にひとり住いの高齢者は、生活に不自由や不安を感じている方々であり、この方々に重点的に見守りと支援をする必要があると考えます。

見守りについては、民生委員・児童委員24名及び12町区 117名の「福祉協力員」の方々が活動されています。

在宅高齢者の方で半数の方が日常生活で「日々の買物」・「通院」・「ごみ出し」・「草取り」に困っていらっしゃいますので、何かの手助けや支援策を検討し、残りの半数の方が「体調」に不安を感じておられるので、日常の見守り活動を行う必要性を感じています。

在宅で元気な方は、「ひまわり会食会」に参加し地域の皆様と交流を図っていく。

また、他の地区で「高齢者サロン・介護予防運動教室・自主コミュニティカフェ」が実施されていますので参加されて健康的な生活を送っていただければと思います。

「日新福祉だより」の発行、「ひまわり会食会」、「訪問交流事業」、「しめ縄づくり」などの行事は、社会福祉協議会の赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金の分配助成金が使われています。